

赤塚古墳出土 三角縁神獸鏡 複製

大分県立博物館 所蔵
北九州市立考古博物館
重要文化財
考古資料・複製



大分県宇佐市にある赤塚古墳（あかつかこふん）は、全長 57.5m の前方後円墳で、3 世紀末に築造された九州最古の前方後円墳であるとされています。石室には箱式石棺を有し、大正 10 年（1921 年）の発掘で、副葬品として三角縁神獸鏡 4 面・三角縁龍虎鏡 1 面・碧玉管玉、鉄刀片、鉄斧などが出土しています。銅鏡は、椿井大塚山古墳（京都府）、石塚山古墳（福岡県）、原口古墳（同）出土のものと同範鏡であるとされており、初期のヤマト王権が各地の首長に与えたものであると考えられています。

KYOTO KAGAKU CO.,LTD
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510
fax 075-605-2519
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp